

東京2020応援プログラム

2019年度秋学期 水曜5限

世界教養科目「国際社会と地域2」

(時間割コード：19180015)

# オリンピック・パラリンピックを考える

## 講座開設の趣旨

東京2020大会に先立ち、SDG'sの観点から、大会の理念や経済効果等を学び、オリンピック・パラリンピックという国際的な祭典の意義を考えると同時に、グローバル化した現代社会だからこそ、その背後に渦巻く様々な政治的・文化的な要因を見抜く力を養うため、以下の講座を開講します。

## 講座スケジュール(予定)

- 10月2日：オリエンテーション
- 10月9日：「オリンピック・パラリンピックと持続可能性①」  
荒田 有紀（東京2020組織委員会 総務局 持続可能性部長）
- 10月16日：「オリンピック・パラリンピックと持続可能性②～レガシー」 結城 和香子（読売新聞）
- 10月23日：「オリンピック・パラリンピックと人権①」 建石 真公子（法政大学）
- 10月30日：「オリンピック・パラリンピックと人権②」 友常 勉（本学教授）
- 11月6日：「オリンピック・パラリンピックとジェンダー」 荒井 啓子（学習院女子大学教授）
- 11月13日：「オリンピック・パラリンピックと平和活動」 舩本 直文（首都大学東京）
- 11月27日：「オリンピック・パラリンピックと経済成長／雇用①」 春名 展生（本学准教授）
- 12月4日：「オリンピック・パラリンピックと環境」 大津 克哉（東海大学）
- 12月11日：「オリンピック・パラリンピックとSDGs」  
－特に目標16の「平和と公正をすべての人に」を中心に－  
望月 敏夫（日本オリンピック・アカデミー会長）
- 12月18日：「オリンピック・パラリンピックと都市開発」 友常 勉（本学教授）
- 1月8日：「オリンピック・パラリンピックと経済成長／雇用②～オリンピック関連産業」  
佐野 慎輔（産経新聞）
- 1月15日：「東京2020大会の概要」 手島 浩二（東京2020組織委員会 総務局長）

2019年度秋学期履修登録期間：  
2019年10月8日(火)～10月14日(月)



## 各講座概要のご紹介

「オリンピック・パラリンピックとSDGs  
—特に目標16の「平和と公正をすべての人に」を  
中心に—

(12/11)

望月 敏夫 先生

(日本オリンピック・アカデミー (JOA) 会長)

「オリ・パラ」の目標は世界平和の実現であるので、SDGsのターゲットと相互に補完し合う。平和・公正に向けての「オリ・パラ」の理念と現実的課題を分析し、今後の方策を議論する。

特に2020東京大会は大会コンセプトに持続可能性を掲げ大会運営の指針にしているため、日本政府の取り組みと併せ議論する。

### 東京2020組織委員会、JOAによる講座

「オリンピック・パラリンピックと持続可能性①」

(10/9)

荒田 有紀 氏

(東京2020組織委員会 総務局 持続可能性部長)

「オリンピック・パラリンピックと持続可能性②  
～レガシー～」

(10/16)

結城 和香子 氏 (JOA理事/読売新聞)

「オリンピック・パラリンピックと人権①」

(10/23)

建石 真公子 先生 (JOA監事/法政大学)

「オリンピック・パラリンピックと平和活動」

(11/13)

舩本 直文 先生 (JOA副会長/首都大学東京)

「オリンピック・パラリンピックと環境」

(12/4)

大津 克哉 先生 (JOA理事/東海大学)

「オリンピック・パラリンピックと経済成長/雇用②  
～オリンピック関連産業～」

(1/8)

佐野 慎輔 氏 (JOA理事/産経新聞)

「東京2020大会の概要」

(1/15)

手島 浩二 氏

(東京2020組織委員会 総務局長)

「オリンピック・パラリンピックとジェンダー」

(11/6)

荒井 啓子 先生

(学習院女子大学教授)

(日本オリンピック・アカデミー (JOA) 専務理事)

「オリンピック憲章の定める権利及び自由は…性別・性的志向…などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない」と当該憲章に記されている。女性スポーツの足跡を辿りながら人権と多様性の視点からジェンダーについて考える。

「オリンピック・パラリンピックと人権②」

(10/30)

友常 勉 先生

(本学大学院国際日本学研究院教授)

2018年、東京都はオリンピック憲章にあわせた法整備を急ぎ、東京都オリンピック人権条例を成立させた。この条例を手がかりに、オリンピックと差別・人権について考えてみたい。これを持続的成長という観点からも検討してみたい。

他、友常先生による講座

「オリンピック・パラリンピックと都市開発」

(12/18)

オリンピック・パラリンピック・冬季オリンピックがともなう都市再開発・国土開発を扱いながら、グローバル化下での都市メガイベントの意味を考えてみたい。

「オリンピック・パラリンピックと貧富/不平等」

(11/27)

春名 展生 先生

(本学大学院国際日本学研究院准教授)

貧困撲滅と社会開発を目標の一つに掲げる国際連合は、特に2000年代に入ってからスポーツがもつ可能性への期待を強め、2008年にはUnited Nations Office of Sport for Development and Peaceを設立した。しかし、その事務所は、2017年に役割を国際オリンピック委員会に移譲し、閉鎖された。

本講義では、この顛末を手がかりとして、どのようにオリンピック・パラリンピックが貧困と不平等の解消に寄与しているのか、その可能性と難しさについて考える。言うまでもなく、貧困の撲滅こそ、SDGsの第一目標である。

開講：秋学期水曜5限

時間割コード：19180015

授業担当者：武田千香

(総合国際学研究院教授)